

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブむさし		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児が安心して楽しく通所ができるように、支援のやり方や対応策を話し合い支援の充実化を図っている。	ご利用児一人ひとりの特性に合わせた、レクリエーションや専門的支援を実施している。支援者間で話し合いや情報共有し活動の内容を変えながら支援している。	職員間でご利用児の情報共有や支援会議、活動の振り返り等を行い、対応策などを確認していく。
2	地域のイベントに参加をして、地域交流を図っている。	地域で行われているイベントについて情報収集を行い、参加をしている。図書館では、本の場所を職員さんにご利用児から聞いたり、お祭りでは欲しい物を伝えてお金を払う等人との関りを通して社会性が育まれるように支援をしている。	イベントについての情報収集を行い参加をしていく。その中で人との関わり方について、ご利用児と一緒に考えていき社会性を身に付けられるようにしていきたい。
3	保護者会の開催等、保護者同士が交流できる機会が増えてきている。	年に1回保護者会を開催し、ご利用児の日々の様子を動画にて保護者へ見てもらえるようにしている。	感染症に留意しながら、保護者会などのイベントの開催にむけて話し合いを設ける。保護者が参加できるように呼びかけを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館との交流する機会が多くないこと。	放課後児童クラブや児童館の職員との交流が持てていない。	まず職員間での交流がもてる機会を作り、情報収集やアプローチの方法等を模索していく。
2	安全対策や災害・感染症対策について保護者への周知が十分ではない。	ホームページや、広報誌にて日々の様子など発信しているが、安全対策等の周知ができていない。	安全対策や災害、感染症対策についてホームページ掲載や書面だけではなく、直接説明も年1回以上行えるようにしていきたい。
3	バリアフリー化が難しい箇所がある。	トイレ入口に段差がある。また玄関が狭いため、緊急時の避難に混雑が予想される。	段差については、ご利用児へ注意を徹底して促す。玄関については、日頃の避難訓練を通じてスムーズな避難ができるように支援をしていく。